

とうふねこ座：市川雅子 画

まちがいがし クイズ

蒲郡の民話⑥

「三谷の狐塚」
(三谷)

問題

上下の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけてください。

あなたは何分でわかりましたか？

- ・1分以内.....天才
- ・3分以内.....秀才
- ・5分以内.....普通

応募方法

ハガキまたはファクスに、答えと住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を書いて応募してください。なお、当選者のお名前を広報がまごおり5月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

〒443-8601 蒲郡市旭町17番1号
蒲郡市役所企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

3月19日(木)当日消印有効

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で5人の方にクオカードをプレゼントします。なお、賞品は5月初旬ごろ郵送します。



「三谷の狐塚」

むかし、砥神山のふもとにわずかばかりの田畑を耕して暮らしている若いお百姓がいました。

ある日、お百姓が畑仕事に出かけると、足にけがをして苦しんでいる狐がいました。あわれに思つて手ぬぐいをさいて包帯をしてやると、狐は大変喜んで、山へ入っていききました。

3カ月がたったある朝、家の前で若い女が「お腹が痛い」と言つて苦しんでいたのので、親切なお百姓は家に入れて介抱してやりました。

それからその女は全快し、そのままお百姓の家にとどまつてよく働き、いつしか夫婦になつてしまいました。その後お百姓の家はだんだん富み栄え、やがて子どもが生まれました。

ところがちようど4年目のこと、ある日、夫婦そろつて田の草取りに出かけたとき、お百姓がふと女房の後ろ姿を見ると、おしりのところから狐の尾が見えました。お百姓はおやつと思ひ、立ちすくんでいると女房が気づき、悲しそうに「ごらんになったらもうおそばには居られませぬ。」と、もとの狐になつて森の方へ姿を消しました。その夜、夢のように女房が現れて、「年に一度田植えのときだけお手伝いにまいります。」と告げて立ち去つてしまいました。

それから毎年、田植えの準備をしておくと、翌朝すつかり苗が植えられていて、収穫はどこよりも多く、ますますこのお百姓の家は富み栄えたそうです。この狐をしのんで狐塚を作つたそうですが、三谷町諏訪山の北に「狐塚」という地名があるので、そのあたりにあつたのかもしれない。

◆1月号の答え

1月号クイズまちがいがし(いびきをとめた弁天様)にたくさんのご応募ありがとうございます。ございました。

応募総数は84通あり、正解者は83人でした。

その中で抽選を行った結果、幸運な方は次の5人の方です。

当選者 敬称略・50音順

形原町	石川	国昭
竹谷町	出川	遥香
蒲郡町	原口	直美
港町	藤田	雅美
一色町	星野	有美

おめでとございます。賞品は3月初旬に発送します。

